

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	アメリカ・カリフォルニア大学リバーサイド校				
留学制度	UCR 特別	留学期間	1 年	学科	英米語
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できた
学習成果	ディスカッションやプレゼンテーション、ネイティブスピーカーと話す機会が増え、その場で瞬時に話すというスピーキング力が身についたと感じる。
目標達成度	おそらく達成できた（スコア/成績未入手の場合など）
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	前回、TOEIC850 点という学習目標を立てたが、実際にテストは受けておらず、スコアが伸びているかはわからない。しかし、自分の英語力は最初に比べてかなり伸びていると考えられる。ネイティブスピーカーと会話する機会を自ら増やし、寮で開催されているイベントにも積極的に参加した。また、通勤のバスではネイティブスピーカーのポッドキャストを聴き、常に英語を馴らしておくようにした。相手の言っていることがわからない場合には、もう一度聞き直したり、そのままにせずその時に理解できるよう努めた。反省している点については、家での学習が足りなかったと感じる。仕事と授業の課題をするのに時間をとりすぎてしまっていた。もう少し時間をうまく使い、隙間時間にも単語帳を開けばよかったと思う。また、ルームメイトと話すことをたまに避けてしまっていた。仕事で疲れているからと言って英語を話す機会を少しでも増やせばよかったと思う。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	ウォルトディズニーワールドで働き、様々な文化的バックグラウンドを持つキャストメンバーとあらゆる経験を共にした。時には一緒に喜んだり、時には一緒に泣いて悔しがったりとても充実した留学生生活を新たな友人と過ごした。また、NUFS の子たちとも連絡を取り合い、互いに励ましあって留学生生活を乗り越えた。総じてとても満足のできる留学生生活であったと感じる。
中間報告からの変化	変わった点は、コミュニケーションをより積極的にとるようになった。NUFS の子たちだけではなく、間違いを恐れずに英語を使い、ほかの国から来ている子たちや職場の同僚などできる限り多く会話をするようになった。留学が終わるころには彼らと英語で楽しく会話をする事ができるようになった。また、自分の気持ちをきちんと言葉に出すようになった。それにより相手との関係をより良いものにすることができ、また自分自身のこともより深く考えられるようになったのではないかと感じる。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	留学を通して、私自身を大きく成長させることができたと感じる。留学に来る前、自分の気持ちをきちんと言葉に出すことを恐れていて、自分に自信が全くなかった。しかし、様々な人々と関わり、ありのままの自分を出すことや自分の気持ちを正直に相手に伝えることの大切さを学んだ。特にインターンシップで現地の人と働く中で、彼らは私がうまくいったときも少しミスをしてしまったときにも、面と向かってきちんと言葉にしてすべてを伝えてくれていた。それが私は私のままでいいのだという考えを生み出してくれた。「自分らしさ」というのをこの留学を通して見つけることができたと思う。

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	イギリス・ウスター大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	世界教養
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できた
学習成果	毎週授業前と後の予習復習を毎回必ずやり、授業で学んだことを最大限最終課題に活かせることができた。また留学前半では勉強計画をうまく立てていなかったがために、最後の期末テストと課題に取り掛かるが遅くなってしまい思うような内容に仕上げるができなかったため、後半学期は先送りをせず計画をしっかりとて取り組むことができた。
目標達成度	達成できた
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	最終課題を効率的に行うために、復習や授業で学んだことの中で何が重要ポイントかというのを取捨選択をうまくすることで効率よく、かつ、最大限の最終レポートと学びを得られた。ダラダラと勉強をするのではなく、1日で行う目標を細かく設定することで無理なく続けることができた。

生活面

友人関係や生活の満足度	やや満足
その理由	友人関係に関してはいろんな国からの友達を作ったり寮のこと楽しく生活ができた。しかし自分自身少し内向的な性格もあって、部屋に籠り気味になってしまう時期も多々あった。
中間報告からの変化	前半よりもっと規律のある生活ができるようになった。1 日単位で to do list とその優先順位をつけることで毎日生産的に生活することを心がけることができた。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	海外は日本以上に愛を相手に示すことを日常的におこなっているなと感じた。例えば一つのハグにしろ、相手が悩んでいたり落ち込んでいる時にしてあげれる少しは心が温かくなるし明るくなると身に染みて学んだ。私が留学中に祖父を失い、日本には帰れずに落ち込んでいた時に友達が gime me a hug と言って hug をしてくれた時にすごく心が温かくなった、またその時に自分の感情を相手に素直に伝えつこともそれは相手への思いやりだと感じた。この体験は一つ一つの小さな愛のある行動言動をはっきり示すということ心がけることにつながったし、愛のある優しさのこもった態度を行動で相手にはっきり見せることの大切さを学んだ。

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	オーストラリア・タスマニア大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できた
学習成果	前期は、語学コースを受講していたためその際と比べるとネイティブの英語のスピード感について行く必要があったので、リスニングの部分はより身についたと感じます。また、課題もレポート形式で 1000~2000 文字程度でそれぞれの教科で 3 回に分けて提出する必要があったので、引用の仕方や参考文献の書き方はより身についたと思います。
目標達成度	十分には達成できなかった
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	学部コースでは discussion 形式が多かったため、そこで自分の意見を言える様に、また相手の意見に対して質問だったり、賛成できる部分、そう思わない部分を伝えられる事が目標でしたが、実際にはとにかく早く聞き取る事さえ難しかったです。日ごろから、英語のコンテンツに触れる様には努力していましたが、もう少し日常生活でネイティブが使うような表現を学べばよかったと思いました。しかし、タスマニア大学の授業形式が、先に予習をして週 1 回の Tutorial や work shop でその週に学んだことを応用して、discussion をするという形式が多かったでの予習さえしっかりすれば聞き取れなかったとしても、何について話しているかは理解できたので、予習をしっかりした点は良かったと思います。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	私の場合、特に友人関係においてとても満足でした。ルームメイトとの関係も良かったですが、同じ寮の敷地に住む韓国人の友達と共に課題をやったり、お互いの国の料理を作り合ったり、勉強だけでなくお互いの国の文化について交換する機会があり楽しかったです。特に、私が滞在していた寮は山の上にあり、外出するのには車がないと不便だったのもあり寮で沢山のイベントが行われていました。そのため、色々な人と出会う機会もあったので、グローバルな環境で様々な文化を楽しめたと思います。また、タスマニアではたまにオーロラが寮の敷地から見る事も出来たのでルームメイトと共に見に行ったりもしました。もちろん、勉強も大事でしたが他の部分では友達に恵まれかなり充実した生活が送れたと思います。
中間報告からの変化	中間報告から変化した点は、語学コースと違って学部コースは毎日あるわけではないので時間が沢山使えるようになった分、夜更かししてしまったり、部屋にこもるようになった事で度々生活習慣が乱れてしまいました。特に、課題の提出期限が近い時は徹夜で課題を行う事も多かったので、メンタル面でも落ち込みやすくなってしまいました。それ以外は、特に中間報告から変わる事なく健康に過ごせたと思います。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	一番大きな成長としては、やはり留学に挑戦した事で得られた自信だと思います。自分の場合、特に全く英語が聞き取れず話す事が出来ない状態からのスタートだったので、ルームメイトや友達とコミュニケーションを何も考えずにとれるぐらいにまで慣れたというのは自分の中で大きな自信になりました。また、本当に多くの人に助けてもらった事で、異国の地で誰かに手を差し伸べてもらう事のありがたみを知りました。自分も、今後、今までしてもらった分の親切を誰かに返したいと思います。具体的な自身の内面の成長としては、自分のパーソナリティを肯定出来るようになった事です。現地にいると、自分が何がしたいか、という考えが常に重視されており、自分もその考えを重視するようになりました。日本では、周囲の視線を気にしていましたが、今は自分が好きでやっているから大丈夫、と自分自身を肯定できるようになりました。これは、特に自分にとって大きな成長だったと思います。

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	カナダ・レスブリッジ大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	グローバルビジネス
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	何とか理解できた
学習成果	英語力、特にリスニングスピーキングがよかったのはもちろん、ビジネスの場における日本と北米での意識することの違いを学べたと思います。
目標達成度	達成できた
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	ビジネス系の学科であることからほかの学科の講義に比べ圧倒的にグループワークが多く現地生徒絡むこと機会が多かったため率先してグループワークの時間を決めたり主体的に行動することを意識していました。反省している点に関してはもう少し語彙力を増やす努力をするべきだったと思います。いまだに日常会話でもその単語の意味何？と聞くことがあるため会話をしつづ中断して意味を聞いていたこともありペースが悪くなることもありました。その点は反省すべきだと感じています。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	特に友人関係で問題がなかったことと、いろんなイベントに参加できたため。寮生活、ホームステイ先での生活どちらを取っても一度も大きな問題を抱えなかったことなどから満足いく生活ができていました。
中間報告からの変化	生活の変化に関してはホームステイに変わったため大きく生活は変化しました。ただ、ホームステイ先の家が受け入れなれていたことや日本に対して知識を持っていたため何一つ困りはしませんでした。友人関係は夏学期が生徒が少なかったこともあり、秋学期になってからは大きく友人の幅が広がりました。多くの現地生徒の関りをもてるようになりより充実していました。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	ある程度心が広くなったと思っています。文化間における問題のマネジメントやそれに関しての対応なども勉強していたことや、実際に文化差を感じる事が多くあったことからある程度の問題を許容しつつそれに対して間を取ることを考えるようになったためすぐに否定から入ることが減ったと感じています。

学習成果レポートⅡ（帰国後報告） 2024 年度 1 期発

基本情報

留学先大学	台湾・文藻外語大学				
留学制度	TESSⅡ	留学期間	1 年	学科	中国語
履修コース	主に学部を履修（+語学科目を一部履修する場合も含む）				

学習面

授業理解度	問題なく理解できた
学習成果	会話が現地の人とスムーズにとれるようになった。 リスニングがすごく伸びた
目標達成度	達成できた
努力したこと、効果があった勉強方法、反省している点など	中間試験、期末試験を精いっぱい頑張った。 今学期は英語・中国語でのプレゼンが多かったが、正々堂々と発表することができて語学の成長を感じた。

生活面

友人関係や生活の満足度	満足
その理由	台湾人やほかの外国人たちとたくさんいろいろなところへ出かけたり、 大学や寮で素敵な生活を送る頃ができた。
中間報告からの変化	英語・中国語を使ってみんなと楽しく会話することができた。 また、前までは自分に自信がなかったけれど、今学期は自分に自信がついて 周りを巻き込んで多くの友達と素敵な時間を過ごすことができました。
良かった点、特に配慮した点、反省した点など	私は今回のクラスで必ず積極的に発言しようと決めました。 なぜなら前学期では周りのレベルに圧倒されてしまって、先生からの質問を答えることに 恐怖心を抱いていました。 ですが、今回はわからない点があればすぐに手を挙げ積極的に質問をし、先生がみんなに対してした質問でも、素早く答え、 クラスの中で先生に上達したねと褒めてもらいました。